

「令和 8 年熊本地震」の総合計画への反映方針

今回の熊本地震を踏まえ、現在検討を進めております「第 6 次益城町総合計画 第 3 期基本計画」において、災害からの復旧対応の状況や、災害への備え、地域の強靱化に関する視点等を反映する必要があると考えております。

1. 今回の熊本地震を踏まえた総合計画の策定について

- 第 3 期基本計画の位置づけ・役割について、「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の両方を含む計画であると共に、令和 8 年熊本地震からの対応を経て得られた気づき・教訓を活かし、災害に強く、町民が安心して暮らせる、持続可能なまちを再構築していくための道筋を示す計画としての位置付け・役割も併せ持つ計画として付加したいと考えています。
- 上記の位置づけ・役割を踏まえ、第 3 期基本計画においては、第 2 期基本計画の内容を基本としながら、令和 8 年熊本地震による被害の状況を参考資料として追加することを検討しています。

2. 町民の皆様の今回の地震を経験についてのご意見の反映について

令和 8 年熊本地震の対応を経て、改めて得られた気づき・教訓を住民の皆様へ広くお聞きし、計画への反映を行う必要があると考えています。